

決算のお知らせと 今後の対応について

決算の概要

はじめに — 本年度決算収支について

高齢者医療制度への納付金増大による大幅な経常収支の赤字に対し、健康保険料率は平成23年度～25年度にかけ、通算20%の引き上げを実施してきましたが、平成27年度については平成26年度と同様に、料率は78%で据え置きといたしました。

これにより平成27年度の保険料収入は、ほぼ前年並みの133.6億円となりました。一方、経常支出は前年度に比べ増加し、経常収入から経常支出を差し引いた経常収支差引額は前年度比3.9億円縮小しましたが、0.8億円の黒字を確保しました。

なお、別途積立金繰入7.0億円等を含めた総合収支は9.5億円の黒字となりました。

経常収入

経常収入の大宗を占める保険料収入は、被保険者1人当たりの年間報酬総額の微減等により、前年度比0.2億円減少の133.6億円となり、経常収入も保険料収入分、微減となりました。

経常支出

はじめに、健保組合を運営する事務費は66百万円と前年度比1.2百万円減少となりましたが、ほぼ例年水準で運営いたしました。また保険給付費は、総額60.7億円で前年度比1.6億円増加し、増加率は2.7%となり、被保険者1人当たりの給付費も前年度比2.2%の増加となりました。内訳としては法定給付費が前年度比2.8%増加付加給付費は前年度比0.1%増加となっています。

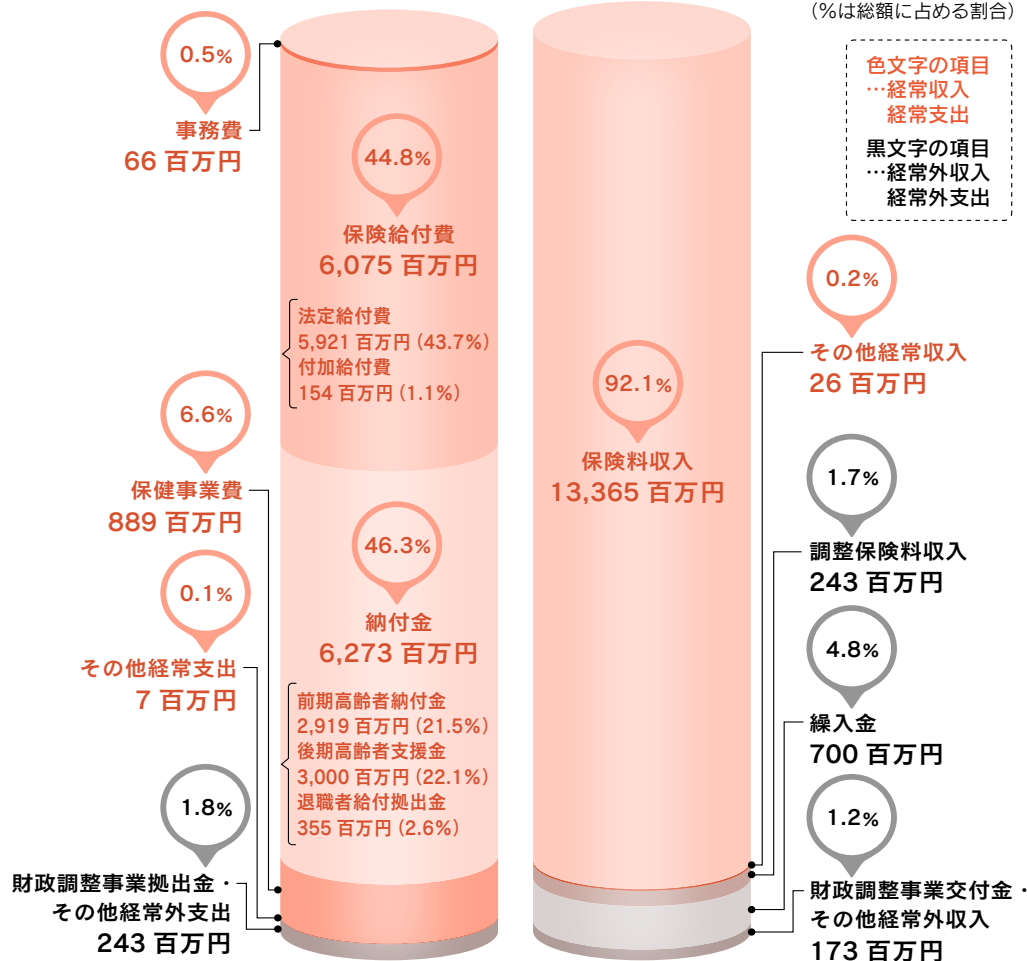
平成27年度 健康保険 収支概要

支出 ▶ 合計 13,553 百万円
経常支出合計 13,310 百万円

収入 ▶ 合計 14,507 百万円
経常収入合計 13,390 百万円

(%は総額に占める割合)

色文字の項目
…経常収入
…経常支出
黒文字の項目
…経常外収入
…経常外支出



7月11日開催の組合会で平成27年度決算が承認され、今後の健康保険料率等に関して議論されましたので、概要をお知らせします。



※端数処理のため合計が合わない場合があります。



今後の対応について

今後の健康保険料率を検討する上で、主要な支出項目となる保険給付費と納付金（高齢者医療制度への負担金）の状況は、高齢化を背景に、保険給付費については高額な先端医療の進展もあり、引き続き増加傾向は避けられないものと思われ、また納付金については、制度の改定及び新たな改定の検討が行われており、引き続き、健保組合にとっては負担金額が増加してくことが予測されます。

このような状況下、健康保険料率については、今後、引き上げを行わざるを得ない状況に変わりありませんが、引き上げの時期及び引き上げ幅については、諸情勢を勘案の上、検討を進めてまいります。

今後も医療費の増加、納付金の制度改定による負担増等、健保組合を取り巻く厳しい環境は続きます。適切に納得感のある料率水準の検討を行ってまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

この結果、各勘定の期末積立金は、「法定準備金」が27・8億円（対前年度同額）、「別途積立金」が7・0億円の取り崩しを含め26・8億円（対前年度2・5億円増）となりました。

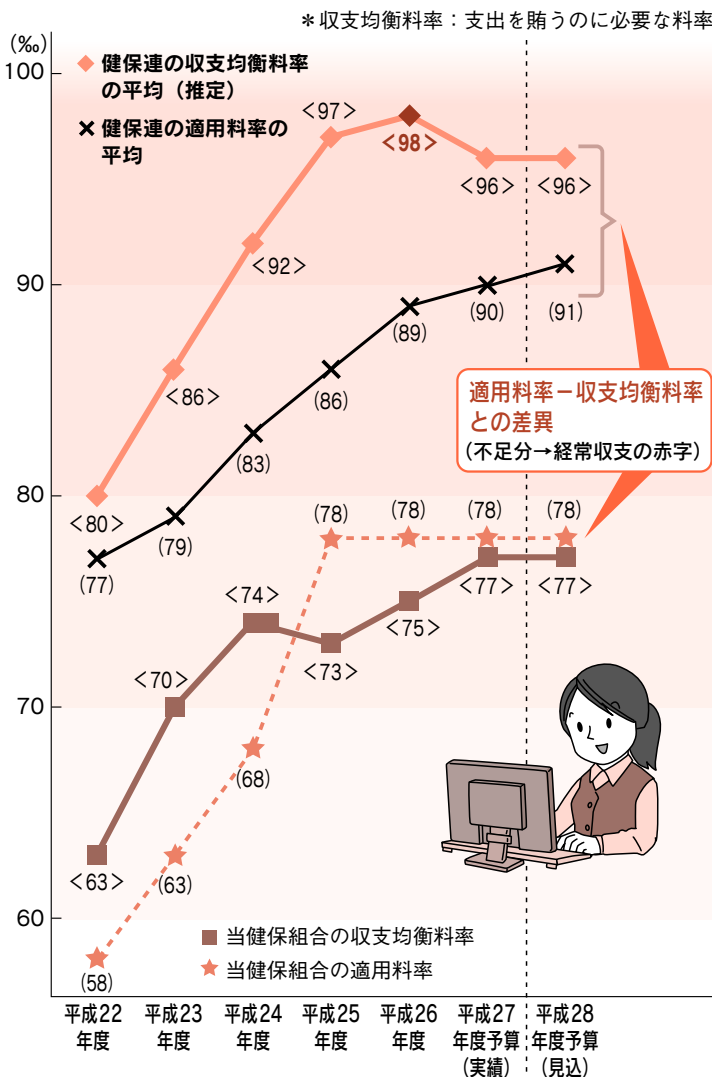
内部留保

総合収支の決算残金9・5億円については、所要の繰越処理を行い、残額の全額を繰越剰余金となる「別途積立金」として積み立て、留保しました。

各健保組合の独自事業である保健事業費の総額は、前年度比4・3百万円増の8・9億円となりました。当健保組合は従来から健診等の疾病予防事業に資源を集中しており、特定健診・特定保健指導、データヘルス計画に対し着実に取組みを推進しました。

次に納付金（高齢者医療制度への負担金）のうち、前期高齢者（65～74歳）納付金は前年度比3・9億円増の29・2億円、後期高齢者（75歳以上）支援金は1・3億円増の30・0億円、退職者給付拠出金は3・1億円減の3・5億円となり、全体では前年度比2・1億円増の62・7億円となりました。この納付金の保険料収入に対する割合は46・9%と保険給付費の割合45・5%を上回っており、財政圧迫の大きな要因となっています。

当健保組合と健保連の健康保険料率と収支均衡料率の推移



経常収支 前年度比較

(単位：億円) <参考>

主要項目	平成26年度	平成27年度	対前年度増減額	対前年度増減率 (%)	平成28年度予算
(+) 保険料 (保険料率)	133.8 (78.0%)	133.6 (78.0%)	▲0.2 (0.0%)	▲0.1 (0.0)	135.3 (78.0%)
(-) 事務費	0.7	0.7	▲0.0	▲1.8	0.8
(-) 保険給付費	59.1	60.7	1.6	2.7	64.5 *
(法定給付費)	(57.6)	(59.2)	(1.6)	(2.8)	(62.9)
(付加給付費)	(1.5)	(1.5)	(0.0)	(0.1)	(1.6)
(-) 納付金 (拠出金)	60.6	62.7	2.1	3.5	58.4 *
(-) 保健事業費	8.8	8.9	0.0	0.5	9.2 *
経常収支差引額	4.7	0.8	▲3.9	—	2.4 *

*平成28年度予算値は平成27年度決算数値等を基に一部、修正しています。

経常収支差引額と内部留保残高の推移

(単位：億円) <参考>

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度見込
経常収支差引額	▲11.7	▲10.2	9.0	4.7	0.8	2.4
<内部留保>						
法定準備金残高	24.2	26.5	27.8	27.8	27.8	27.8
別途積立金残高	20.5	9.2	18.1	24.2	26.8	30.4

組合状況

年度	平成26年度	平成27年度	増減
健康保険料率	78.0/1000	78.0/1000	—
被保険者数 (3月末)	25,244人	25,365人	121人
被扶養者数 (3月末)	21,114人	20,430人	▲684人
扶養率	0.84人	0.81人	▲0.03人
被保険者平均年齢	42.03歳	42.21歳	+0.18歳
平均報酬月額	410,321円	407,672円	▲2,649円